

阿波中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①基礎基本を徹底し、主体的に取り組むことができる生徒の育成
- ②思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫
- ③学びを人生や社会に生かそうとする力の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長 根東英司	教頭 松尾聖子
1学年主任 森 輝代	教務主任 竹原弘人	研修主任 岡田あけみ	
	2学年主任 瀧川郁代	3学年主任 鈴田敦子	

校長

根東 英司

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いたある授業態度で、意欲的に取り組んでいる。与えられた課題もほぼ期限内に出すことができる。 ●小テストや単元テストなどの基本的なテストでは点が取れるが、広範囲の応用力を試されるテストでは正答率が低い。	・授業に集中して取り組むことができる。 ・学習内容の定着を図るために復習する時間を確保し、繰り返し学習することができる。 ・学習の過程を通して習得した知識が、既習の知識と関連付けられ、他の学習の場面で活用することができる。	①既習内容を確認する機会を設け、小テストで自らの定着度を確認させ、復習させる。 ②他学年・他教科の教員が相互に授業参観を行い学び合う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の意見を発表し、相手に伝えることができる。また、ペアやグループ学習にも協力的で友達との学び合いや教え合いなども行うことができる。 ●学習した内容を的確にまとめることや、授業中での大事なポイントを把握する能力が乏しい。また、長く抽象的な文章の理解が苦手である。	・文章を根気強く読み、内容を理解することができる。 ・自分の考えを的確にまとめ、相手が理解できるよう、わかりやすく説明したり、発表したりすることができる。 ・話し合い活動等を行う中で、解決する方法を考えることができる。	①文章を読むことの大切さを伝え、読書や新聞を読む時間を設定し、記事をまとめさせる。 ②授業の中で、ポイントのつかみ方やまとめ方を伝え、表現活動や言語活動の機会を増やす。 ③ホワイトボードやICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業や毎朝のセミナー学習や読書の準備などの取り掛かりが早く、集中して取り組むことができる。 ●応用問題や苦手なものを後回しにする傾向がある。宿題以外の学習時間が不足しており、わからないことをそのままにしている生徒もいる。	・家庭学習で既習事項の確認を主体的に行い、自分の苦手を自覚し、わからないことをわかるようにしようとする事ができる。 ・自分で解決できない課題等に対して、教員や友人の力を借りて解決しようとする事ができる。 ・テストでは、無回答をなくし最後まで粘り強く問題に取り組むことができる。	①家庭学習の定着を図るために、自主学習ノートの書き方や学習方法を提示する。 ②テスト前後に自分の課題や反省を書かせ、自己分析を行い、次の目標を設定させる。 ③テスト対策やテスト後の見直しの時間を確保し、正答率が低い問題は再度解かせる。			

令和3年度 学力向上ロードマップ



